報告事項ウ

全国学力•学習状況調査の結果（地区別等）について

全国学力•学習状況調査の結果（地区別等）について，別紙のとおり報告します。

平成19年12月21日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

## 1

## 公表資料

○資料1…地区別（東•中•西）調査結果
小学校…国語 A，国語B，算数 A，算数 B
中学校…国語 A，国語B，算数A，算数 B
O資料 $2 \cdots$ 市部•郡部別調査結果
小学校…国語 A，国語B，算数A，算数 B
中学校…国語 A，国語B，算数A，算数 B
O資料 $3 \cdots$ 学級規模別調査結果

## 2 地区別（東•中•西）調査結果の概要（資料1）

## 【小学校 6 年生】

| 鳥取県 | 国語A 84.4 \％ | 国語 B 64．0 \％ | 算数 A $84.2 \%$ | 算数 B 65.0 \％ |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 全 国 | 国語A 81.7 \％ | 国語B 62.0 \％ | 算数A $82.1 \%$ | 算数 B 63.6 \％ |
| 東 部 | 国語 A 84．4 \％ | 国語B64．0 \％ | 算数 A 85．8 \％ | 算数 B 65.0 \％ |
| 中 部 | 国語 A 85．0 \％ | 国語 B 64.0 \％ | 算数A $85.3 \%$ | 算数 B 65.9 \％ |
| 西 部 | 国語A 83.9 \％ | 国語B 64.0 \％ | 算数A $82.6 \%$ | 算数 B 64.3 \％ |

国語A（主として知識）…18問

- 3 地区とも全国平均を $2.2 \sim 3.3$ ポイント上回っている。
- 地区間の平均正答率の開きは，最大で 1.1 ポイント。
- 国語B（主として活用）…10問
- 3 地区とも全国平均を 2.0 ポイント上回っている。

算数A（主として知識）…19問

- 3 地区とも全国平均を $0.5 \sim 3.7$ ポイント上回っている。
- 地区間の平均正答率の開きは，最大で 3.2 ポイント。

○算数B（主として活用）…10問

- 3 地区とも全国平均を $0.7 \sim 2.3$ ポイント上回っている。
- 地区間の平均正答率の開きは，最大で 1.6 ポイント

【中学校 3 年生】

| 鳥取県 |  | 国語A $81.9 \%$ | 国語B $72.0 \%$ | 数学A $73.3 \%$ |
| :---: | :--- | :--- | :--- | :--- |
| 全 | 国 | 国語A $81.6 \%$ | 国語B $72.0 \%$ | 数学 B $61.2 \%$ |
| 東 | 部 | 国語A $83.9 \%$ | 数学 B $60.6 \%$ |  |
| 中 | 部 | 国語A $81.1 \%$ | 国語B $75.0 \%$ | 数学A $74.4 \%$ |
| 西 | 部 | 数学 B $62.9 \%$ |  |  |

国語A（主として知識）‥37問

- 中部，西部地区で全国平均を 0.5 ポイント下回っている。
- 地区間の平均正答率の開きが最大で 2.7 ポイント。

○国語B（主として活用）…10問
－東部地区が全国平均を3．0ポイント上回り，他の 2 地区は全国平均を 1.0 ポイン ト下回っている。
－地区間の平均正答率の開きが 4.0 ポイントとやや大きい。

○数学A（主として知識）‥36問

- 3 地区とも全国平均を $0.6 ~ 2.5$ ポイント上回っている。
- 地区間の平均正答率の開きは，最大で 1.9 ポイント。

数学B（主として活用）

- 東部，中部地区は全国平均をそれぞれ2．3，0．6ポイント上回っている。
- 地区間の平均正答率の開きは，最大で 2.3 ポイント。


## 3 市部•郡部別調査結果の概要（資料2）

## 【小学校 6 年生】

| 鳥取県 | 国語 A 84．4 \％ | 国語 B 64.0 \％ | 算数A 84.2 \％ | 算数 B 65.0 \％ |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 全 国 | 国語A $81.7 \%$ | 国語 B 62.0 \％ | 算数A 82.1 \％ | 算数 B 63.6 \％ |
| 市 部 | 国語A 84.4 \％ | 国語 B 64.0 \％ | 算数A 84.2 \％ | 算数 B 65.0 \％ |
| 郡 部 | 国語A 83.9 \％ | 国語 B 64.0 \％ | 算数A 84.7 \％ | 算数 B 65.0 \％ |

## ○国語A

- 市部，郡部ともに全国平均をそれぞれ2．7，2．2ポイント上回っている。
- 市部と郡部の平均正答率の開きは 0.5 ポイント。


## ○国語B

－市部，郡部ともに全国平均を 2.0 ポイント上回っている。

## 算数 A

- 市部，郡部とも全国平均をそれぞれ 2．1，2．6ポイント上回っている
- 地区間の平均正答率の開きは，0．5ポイント


## 算数 B

－市部，郡部とも全国平均を1．4ポイント上回っている。

【中学校 3 年生】

| 鳥取県 |  | 国語A $81.9 \%$ | 国語B $72.0 \%$ | 数学A $73.3 \%$ |
| :---: | :--- | :--- | :--- | :--- |
| 全 | 国 | 国数学 B $61.6 \%$ | 国語B $72.0 \%$ | 数学A $71.9 \%$ |
| 市 | 部 | 国語A $81.6 \%$ | 数学 B $60.6 \%$ |  |
| 郡 | 部 | 国語 A $72.0 \%$ | 数学 A $73.3 \%$ | 数学B $61.2 \%$ |

## ○国語A

- 郡部は全国平均を 0.8 ポイント上回っている。
- 市部と郡部の平均正答率の開きは 0.8 ポイント。

○国語B

- 郡部は全国平均を 1.0 ポイント上回っている。
- 市部と郡部の平均正答率の開きは1．0ポイント。


## ○数学 A

－市部，郡部とも全国平均を 1.4 ポイント上回っている

○数学 $B$

- 市部，郡部とも全国平均をそれぞれ0．6，1．2ポイント上回っている。
- 地区間の平均正答率の開きは，0．6ポイント。


## 4 学級規模別調査結果の概要（資料3）

## 【小学校】

| 31人～40人（平均正答率） | 国語A $84.4 \%$ | 国語B $64.0 \%$ | 算数A $84.7 \%$ | 算数A $65.0 \%$ |
| :---: | :--- | :--- | :--- | :--- |
| 1人～30人（平均正答率） | 国語A 84．4\％ | 国語B $64.0 \%$ | 算数A $84.2 \%$ | 算数B $65.0 \%$ |

## 【中学校】

| 31 人～40人（平均正答率） | 国語A $81.6 \%$ | 国語B $71.0 \%$ | 数学A $73.1 \%$ | 数学A $60.6 \%$ |
| :---: | :--- | :--- | :--- | :--- | :--- | :--- |
| 1人～30人（平均正答率） | 国語A $83.0 \%$ | 国語B $74.0 \%$ | 数学A $74.2 \%$ | 数学B $62.9 \%$ |

※4月に実施された調査ということを考慮して，平成18年度（小学校5年生時，中学校 2 年生時）の学級編制により， 30 人以下の学級， 31 人以上学級に分け て集計を行った。

- 小学校は，ほとんど開きが見られない。
- 中学校は，全て 30 人以下の学級の平均正答率が，31人以上の学級を 1.1 ポイ ント～3．0ポイント上回った。


## 5 今後の予定

地区ごとにまとめて加工した設問ごとの調査結果や質問紙調査のデータなど，今後も いくつかの資料を公表する。

